

非常用ガスタービン発電設備 オーバーホールのすすめ

電力トラブルへの備えは万全ですか？

非常用ガスタービン発電設備の点検整備のご計画や
日常の維持管理に関するご質問など、
お客様のあらゆるご相談、ご要望にお応えします。



株式会社カワサキマシンシステムズ

<https://www.khi.co.jp/corp/kms/>

サービス拠点

東部事業所

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-5-1 御茶ノ水ファーストビル9F
TEL 03-5280-9191

中部事業所

〒456-0016
愛知県名古屋市熱田区五本松町7-30 熱田メディアウイング
TEL 052-265-9624

西部事業所

〒673-8666
兵庫県明石市川崎町1-1 川崎重工業(株)明石工場内
TEL 078-921-8588

北海道サービスセンター

〒003-0807
北海道札幌市白石区菊水7条2-7-1 札幌流通倉庫東ビル6階
TEL 011-820-1175

北陸サービスセンター

〒920-0025
石川県金沢市駅西本町2-11-42 MKビル102号室
TEL 076-255-6763

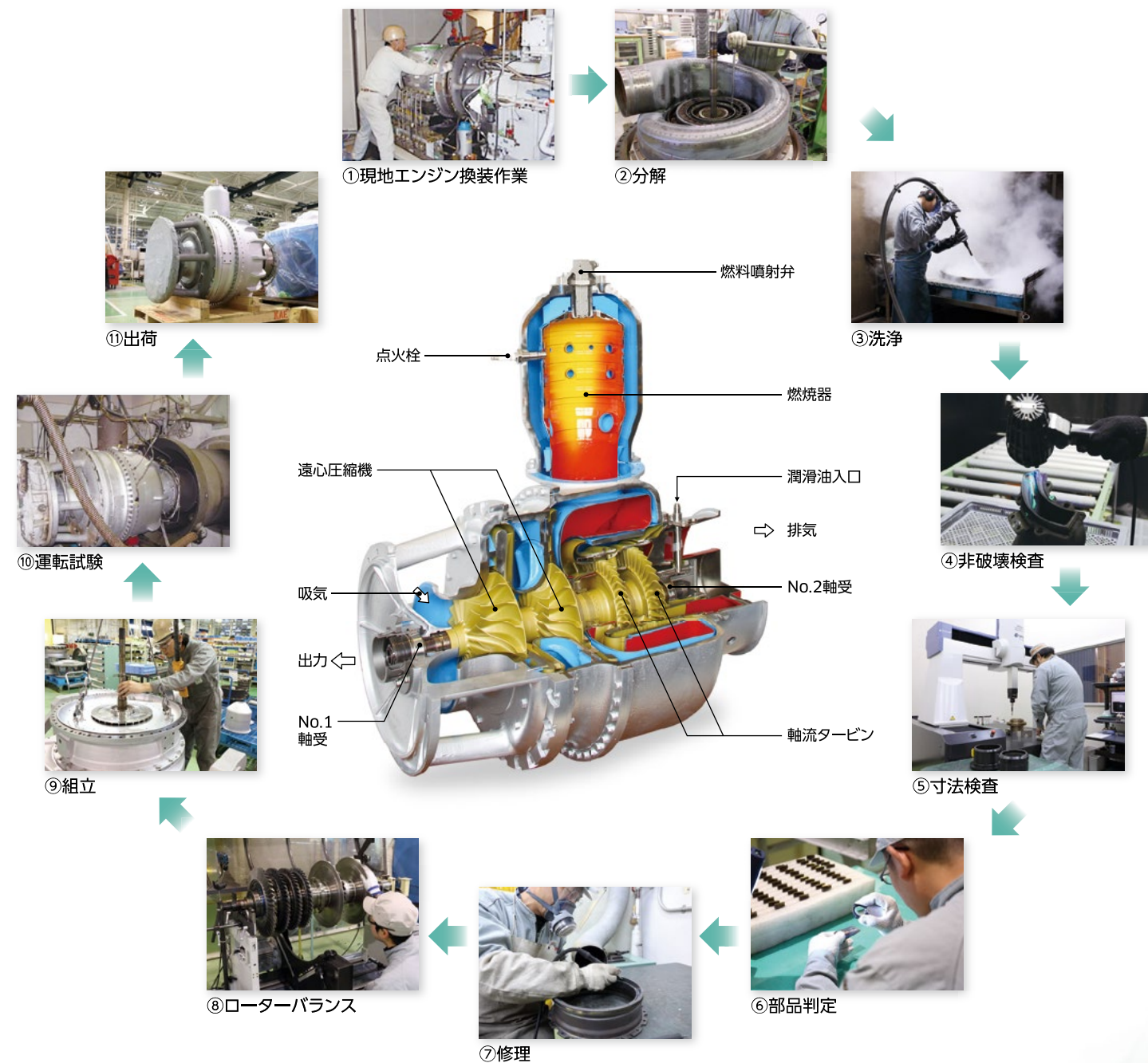
緊急専用窓口 ▶ 24時間365日対応 TEL 078-921-8580

お問い合わせ

パワーセクションの機能を回復し、設備の大幅な延命を実現

高温・高速で仕事をするガスタービンには、焼損・割れ・錆・摩耗といった劣化が発生します。
設備を安心して運用するため、川崎重工業基準によるパワーセクションオーバーホールを強くお勧めします。

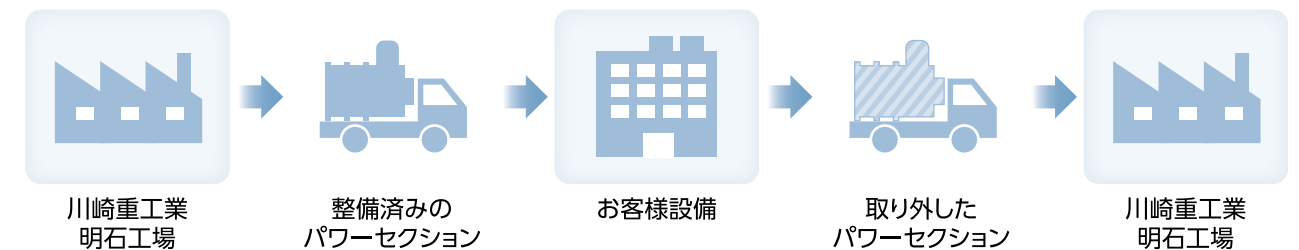
パワーセクションオーバーホールの流れ(川崎重工業(株)明石工場)



パワーセクション交換作業(お客様設備)

①パワーセクション交換方式

- ・ 予め整備済みの予備のパワーセクションと現地で交換して運用するものです。
取り外したパワーセクションは、川崎重工業の予備機として整備し、他設備の交換パワーセクションとして運用します。
なお、交換するパワーセクションは、川崎重工業社内試験で社内規格を満たしたものです。
- ・ 交換完了と同時に、非常用発電装置が使用可能な状態になるため、不稼動状態を最小限にとどめることが可能です。



②持ち帰りオーバーホール方式

- ・ 取り外したパワーセクションを工場に持ち帰り、整備して再設置いたします。
- ・ 標準的な工場でのオーバーホール期間は1～1.5ヵ月です。
- ・ 整備期間中に予備のパワーセクションをレンタルして、非常用発電設備を稼動状態とすることも可能です。

〈オーバーホール推奨時期〉

■標準PUシリーズ

等価運転時間1,000時間、または18年のどちらか早い方

※等価運転時間=運転時間+始動回数(始動1回につき1時間と換算)

エンジン内部部品の損傷事例(左: 正常品 右: 不具合品)

ベアリング(軸受)



長時間運転(1,000時間超)及び納入後30年経過によるベアリング破損

メインシャフト



納入後20年経過による全体的な発錆